パロマガス瞬間給湯器
取扱説明書 保証書付

PH-162SSWQLシリーズ

もくじ

詳細もくじ ……………………………… 2
必ずお守りください(安全上の注意) …… 3
各部のなまえとはたらき(機器本体) …… 8
初めてお使いになるときは …………… 9
使いかた
リモコンをお使いの場合 ………… 10
(P2詳細もくじ参照)
リモコンがない場合
お湯を出す/お湯の温度を調節する … 24
凍結による破損を予防する ………… 25
日常の点検・お手入れのしかた ……… 27
故障・異常かな?と思ったら ……… 29
アフターサービスについて ………… 34
主な仕様 ……………………………… 35
保証書 ……………………………… 裏表紙

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
＊この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
＊保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
＊この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

Paloma

SAR8587

SAR8587 T

詳細もくじ

詳細もくじ ………… 2
必ずお守りください(安全上の注意) ………… 3
各部のなまえとはたらき(機器本体) ………… 8
初めてお使いになるときは ………… 9

リモコンをお使いの場合

各部のなまえとはたらき(リモコン) ………… 10
給湯リモコン ………… 10
ふろリモコン ………… 12
使いかた
給湯リモコンで 時計を合わせる/時計を表示させる ………… 14
浴室から給湯リモコンのチャイムを鳴らす ………… 15
お湯を出す/お湯の温度を調節する ………… 16
おふろのお湯はりをする<オートストップ> ………… 18
お湯はり温度を調節する ………… 20
お湯はり湯量を調節する ………… 21
各設定を変更する ………… 22
(リモコンの音量・音声ガイド・表示の節電)

リモコンがない場合

お湯を出す/お湯の温度を調節する ………… 24

凍結による破損を予防する ………… 25
日常の点検・お手入れのしかた ………… 27
故障・異常かな?と思ったら ………… 29
アフターサービスについて ………… 34
主な仕様 ………… 35
保証書 ………… 裏表紙

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■危害・損害の程度による内容の区分

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠危険

必ずおこなう

ガス漏れに気づいたときは、

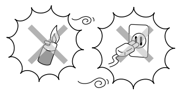
1. **すぐに使用をやめる**
2. **ガス栓を閉める**
   メーターのガス栓も閉める
3. **お買い上げの販売店かお近くのガス事業者(供給業者)に連絡する**

火気禁止

ガス漏れ時は、絶対に

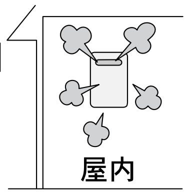
- **火をつけない**
- **電気器具のスイッチの入・切をしない**
- **電源プラグの抜き差しをしない**
- **周辺の電話も使用しない**

火や火花で引火し、火災の原因になります。



禁止

屋内に設置しない
【屋外設置形の場合】



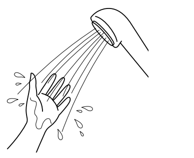
一酸化炭素中毒の原因になります。

⚠警告

高温注意

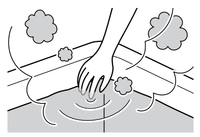
シャワー使用時は、手で湯温を確認してから使用する

やけど予防のため。



入浴時も、浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。



(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

必ず おこなう

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従う

1. **給湯栓を閉める**
2. **【リモコンがある場合】
運転スイッチを「切」にする**
3. **ガス栓・給水元栓を閉める**
4. **お買い上げの販売店かお近くのパロマに連絡する**

火災・感電・故障などの予防のため。

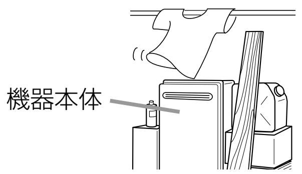
禁止

シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

禁止

燃えやすい物をまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)



火災の原因になります。

禁止

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

火災の原因になります。

禁止

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

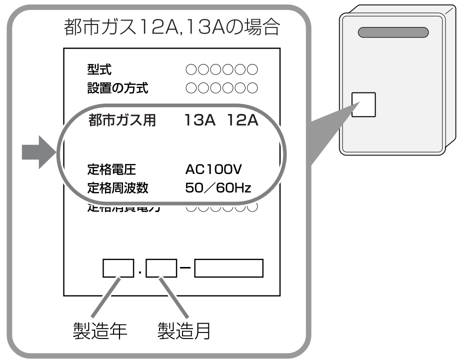
禁止

**子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない**

思わぬ事故の原因になります。

必ず おこなう

必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示以外のガス・電源を使用すると、異常燃焼し、火災や感電の原因になります。

必ず おこなう

機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店かお近くのパロマに依頼する

安全に使用していただくため。

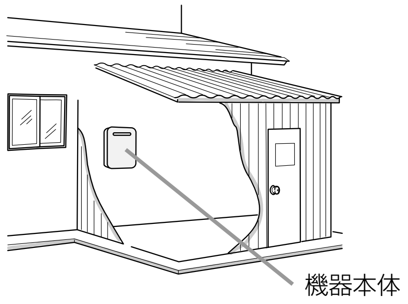
分解禁止

お客様ご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

思わぬ事故や故障の原因になります。

禁止

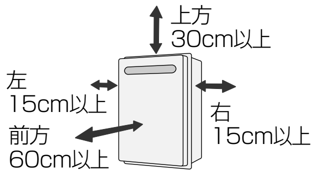
増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをしない)



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

必ず おこなう

燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)



火災予防のため。

⚠注意

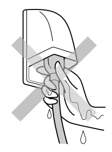
アースする

必ずアースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご相談ください。

ぬれ手禁止 / 感電注意

電源プラグはぬれた手でさわらない



感電の原因になります。

禁止

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工しない。

感電、ショート、火災の原因になります。

禁止

太陽熱温水器とは絶対に接続しない

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

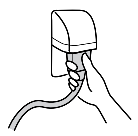
必ず おこなう

電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

必ず おこなう

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。

必ず おこなう

電源プラグのほこりは定期的に取る

ほこりがたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

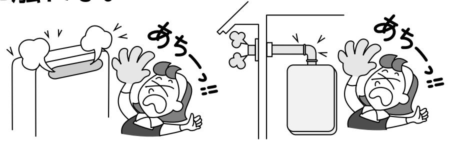
禁止

給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。

接触禁止

使用中や使用後しばらくは、排気口・給排気筒トップ・給排気筒付近に触れない



やけど予防のため。

必ずお守りください(安全上の注意)-3

お願い

電源プラグを抜く
ぬれ手禁止
感電注意

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、時計を合わせてください。
※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。
※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

ぬれた手でさわらない
(感電のおそれがあります)

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。
業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する

時計がリセットする場合があります。

停電すると、運転が停止します

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。
運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。
シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、ベンジンや塩素系の洗剤を使用しない

変形する場合があります。

給湯リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

ふろリモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないように注意する

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合は保証期間内でも有料修理になります。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

(つづく)

(つづき)

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置する増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色する原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に充分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
(機器の修理・点検に必要な空間については、お買い上げの販売店かお近くのパロマに確認してください)

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

凍結による破損を予防する(☞P25,26)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする
(☞P26)

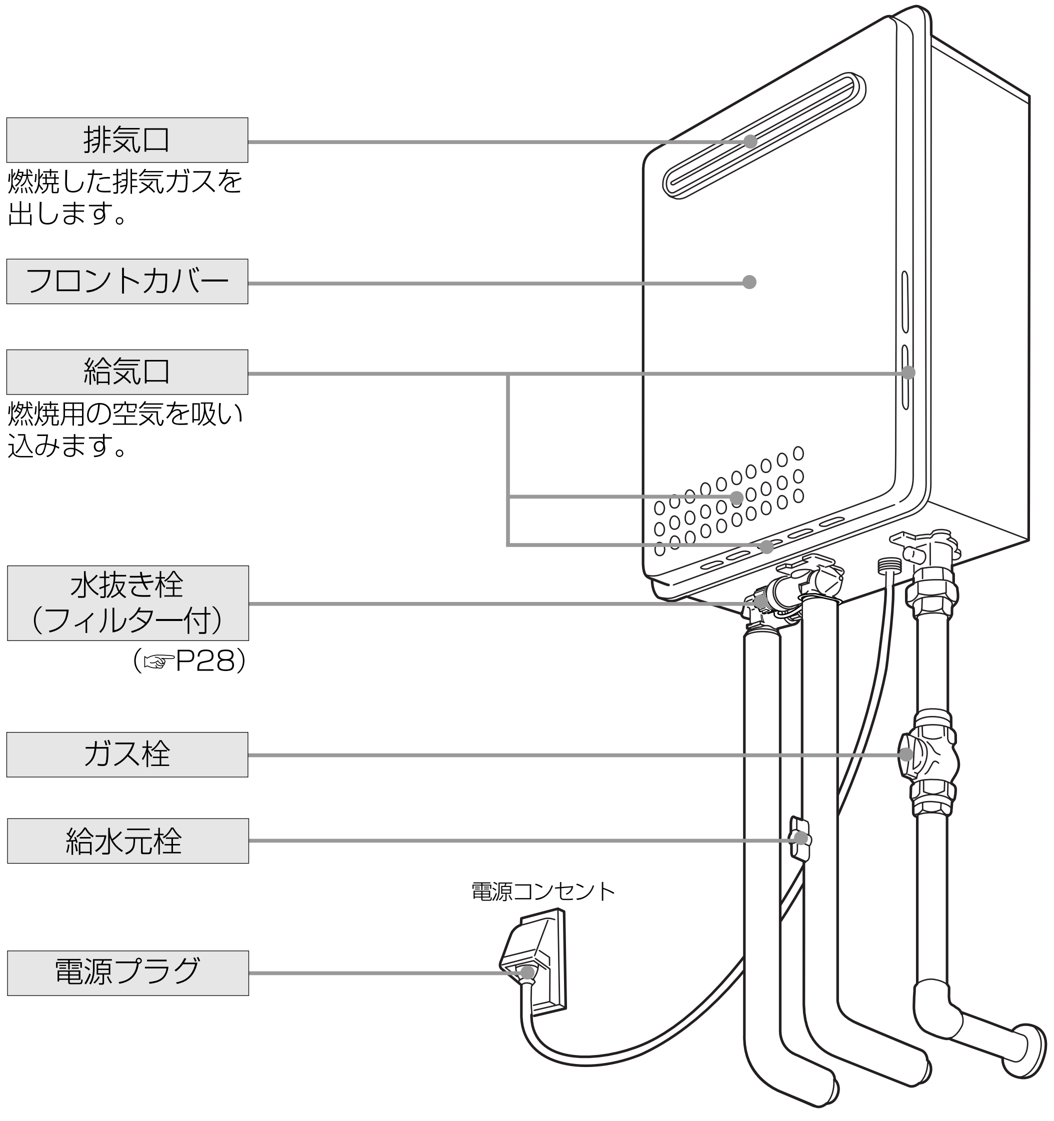
凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

積雪時には給気口、排気口、給排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給気口、排気口、給排気筒トップがふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

各部のなまえとはたらき（機器本体）

イラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。



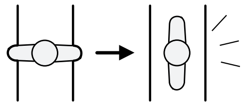
（例： PH-162SSWQL）

初めてお使いになるときは

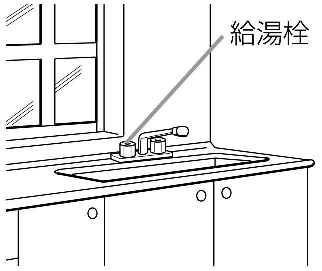
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1〜4 の手順でおこなってください。

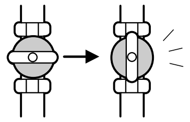
1 給水元栓を全開にする。



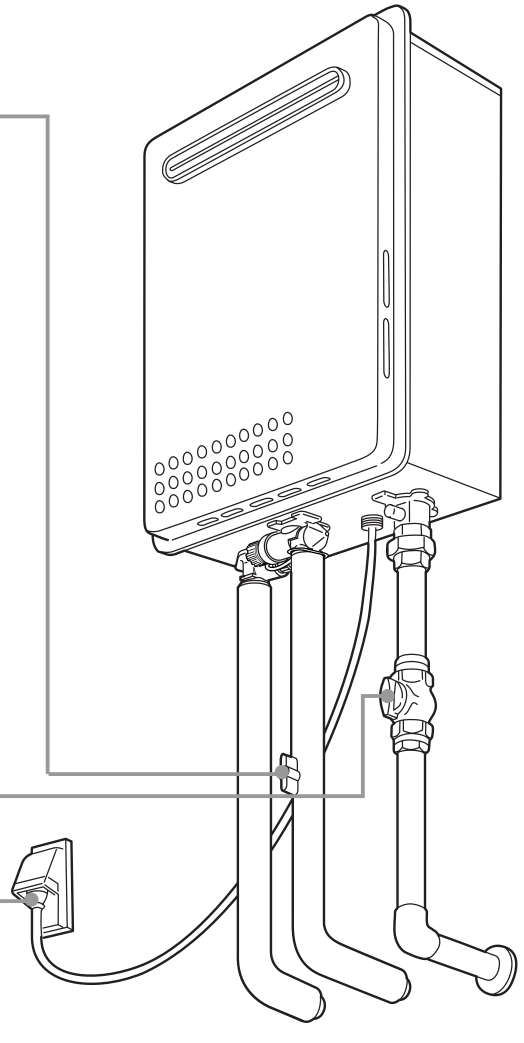
2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。



3 ガス栓を全開にする。



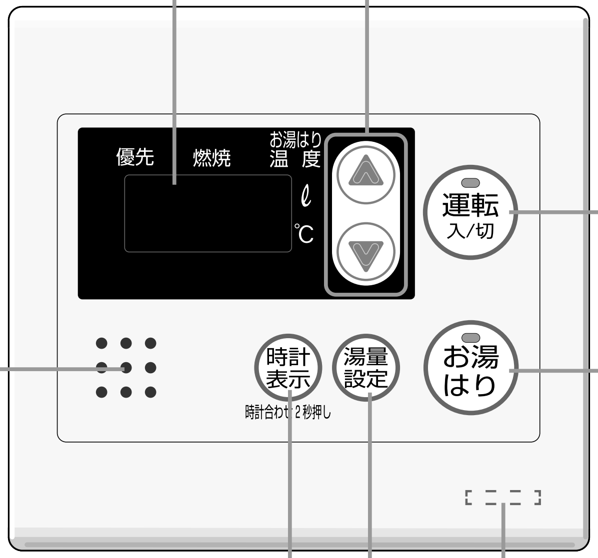
4 電源プラグを差し込む。
ぬれた手でさわらない



（例：PH-162SSWQL）

各部のなまえとはたらき(リモコン)-1

給湯リモコン<別売品>



表示画面
(☞次ページ)

設定スイッチ
お湯の温度の設定に。(☞P16～17)
その他、各種設定をするときに。

運転スイッチ
運転の入·切に。

スピーカー

お湯はりスイッチ
おふろのお湯はりをするときに。(☞P18～19)
おふろのお湯はり温度を調節するときに。(☞P20)

時計表示スイッチ
時計を表示するとき、または時計を合わせるときに。(☞P14)

リモコン品名

湯量設定スイッチ
おふろのお湯はり湯量を調節するときに。(☞P21)

※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。

燃焼ランプ

優先ランプ
このランプが点灯しているリモコンで、お湯の温度が調節できます。(☞P17)

お湯はり温度ランプ
点灯中はお湯はり温度を表示します。(☞P20)

給湯温度表示
(例：40℃)

お湯はり温度表示
(例：40℃)

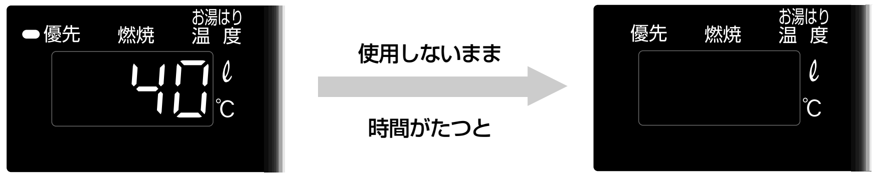
お湯はり湯量表示
(☞P21)

時計表示
時計表示スイッチを押すと時計表示します。(☞P14)

故障表示
不具合が生じたとき、故障表示します。(☞P33)

リモコンの無駄な電力消費を防ぐ　<表示の節電>

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。



※画面が消えても、運転は「入」の状態です

＊再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
＊給湯温度を60℃，75℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。
＊時計表示をしているときは、表示の節電はしません。

各部のなまえとはたらき(リモコン)-2

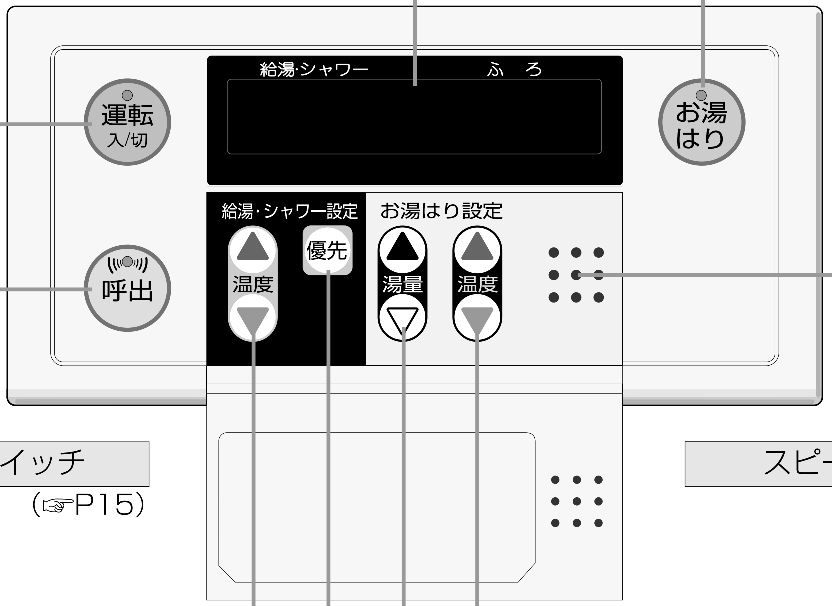
ふろリモコン<別売品>

(浴室に取り付けます)

運転スイッチ
運転の入・切に。

表示画面
(☞次ページ)

お湯はりスイッチ
おふろのお湯はりをするときに。
(☞P18〜19)



呼出スイッチ
(☞P15)

スピーカー

給湯温度設定スイッチ
お湯の温度の設定に。
(☞P16〜17)

お湯はり温度設定スイッチ
(☞P20)

優先スイッチ
(☞P17)

お湯はり湯量設定スイッチ
(☞P21)

※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

表示画面

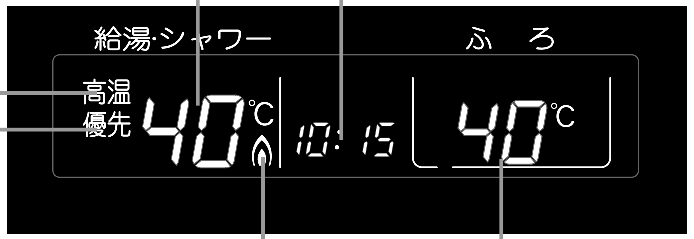
下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。

給湯温度表示
(例:40℃)

時計表示
(例:10時15分)
運転スイッチ「切」のときには表示しません。

故障表示
不具合が生じたとき、故障表示します。
(☞P33)

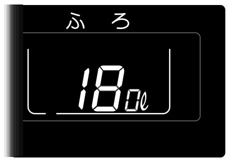
高温表示



優先表示
この表示が出ているリモコンで、お湯の温度が調節できます。
(☞P17)

お湯はり温度表示
(例:40℃)

お湯はり湯量表示
(例:180L)

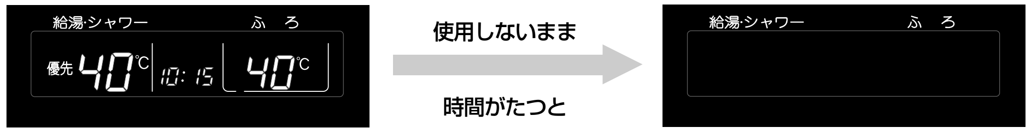


給湯燃焼表示

お湯はり燃焼表示

リモコンの無駄な電力消費を防ぐ　<表示の節電>

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分(お湯はりの機能を使った場合約1時間)たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。

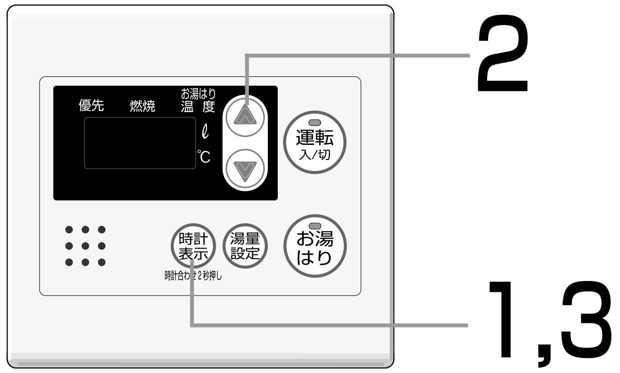


※画面が消えても、運転は「入」の状態です

※再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
※給湯温度を60℃,75℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。

使いかた
給湯リモコンで 時計を合わせる/時計を表示させる

（給湯リモコン）



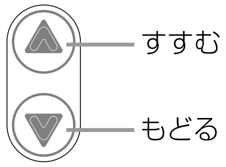
時計合わせは給湯リモコンでします。
（ふろリモコンではできません）

運転スイッチの「入・切」に関係なく、時計合わせや時計を表示させることができます。（イラストは「切」の状態です）

時計を合わせる

1 時計表示スイッチを押す
（AM 0:00が点滅するまで）

2 時計を合わせる



一度押す毎に１分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。

例：「午前10時15分」のとき

3 時計表示スイッチを押す

点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。

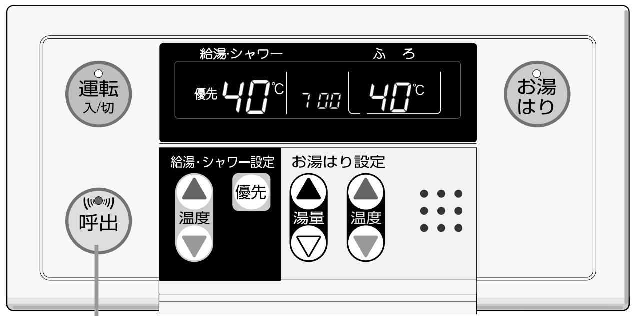
時計を表示させる

時計表示スイッチを押してください。
もう一度押すと、時計表示が消えます。

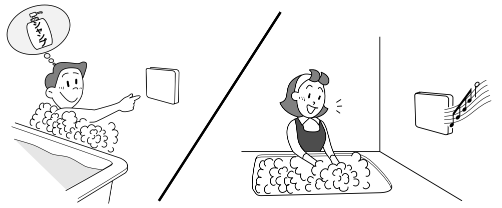
- ●時計表示中に、お湯を使用したりお湯の温度を変更したりすると、時計表示は消えます。
- ●お湯の使用中や、60℃，75℃の高温設定時に時計表示スイッチを押すと、10秒間時計表示し、その後、元の画面表示に戻ります。
- ●停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電するとAM 0:00に表示が変わりますので、時計合わせをしなおしてください。
- ●時計表示をしているときは、表示の節電はしません。

使いかた
浴室から給湯リモコンのチャイムを鳴らす
（給湯リモコン・ふろリモコンの両方がある場合）

（ふろリモコン）



浴室にいるときに、何か必要な物があったり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼出スイッチで知らせることができます。
（インターホンではないので会話はできません）



呼出スイッチを 押す

チャイムで呼び出します。

押し続けると、手をはなすまでチャイムをくりかえします。

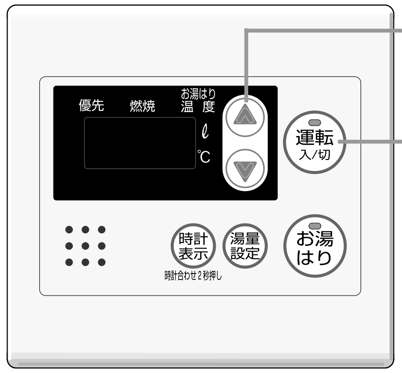
- ●呼出スイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。
- ●給湯リモコンがない場合は、ふろリモコンでのみ呼び出し音が鳴ります。

使いかた

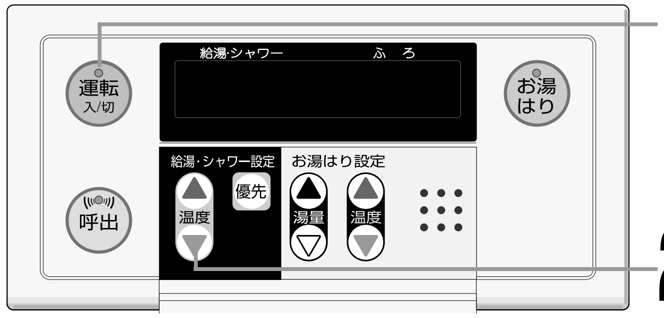
お湯を出す/お湯の温度を調節する

リモコンをお使いの場合

（給湯リモコン）



（ふろリモコン）



ここでは給湯リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

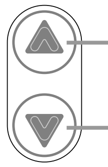
1 運転スイッチを「入」にする

点灯

前回に設定した給湯温度（例：40℃）

<一度設定すると記憶します>

2 設定スイッチで給湯温度を調節する（変更しないときは温度を確認する）



点灯確認

変更した給湯温度

3 給湯栓を開ける

燃焼中 点灯

4 使用後は給湯栓を閉める

消灯

お湯の温度の目安

（℃ ・目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、・実際の温度とは異なります。）

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	75
食器洗いなど	シャワー、給湯など						給湯など					高温	

※初期設定（工場出荷時）＝40℃

サーモ付混合水栓の場合は、リモコンのお湯の温度設定をご希望の温度より約10℃高く設定すると、ちょうどよくなります。

いったん運転スイッチを「切」にし、再使用する場合、前回の設定温度が75℃のときは、安全のため60℃になります。

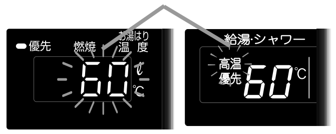
⚠警告

やけど予防のために

高温注意

- ●シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- ●60℃，75℃に設定したときは、音声で"あついお湯が出ます。給湯温度を○○℃に変更しました"とお知らせし、右のような表示になります。
- ●表示の温度をよく確かめてから使用してください。60℃，75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
- ●シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。
- ●シャワーやお湯の使用中、他の人は《優先》を切り替えないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。

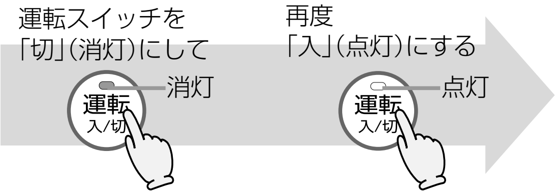
約10秒間 点滅→点灯



<給湯リモコン> <ふろリモコン>

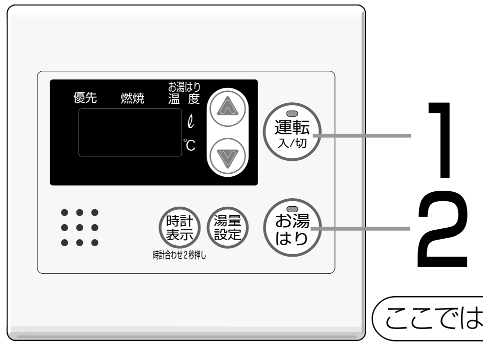
温度調節ができない場合は、以下の操作をしてください<*優先切替*>

（設定温度は例です）

	温度調節できない状態	→ 優先切替する →	温度調節できる状態
ふろリモコン	「優先」表示していない ※給湯温度設定スイッチを押すと音声で"優先スイッチを押してください"	優先スイッチを押す 	表示
給湯リモコン	点灯していない ※設定スイッチを押すと音声で"浴室優先です"	運転スイッチを「切」（消灯）にして 消灯 再度「入」（点灯）にする 点灯  ※お湯はり中にこの操作をするとお湯はりが停止します。	点灯

使いかた
おふろのお湯はりをする<オートストップ>

（給湯リモコン）



（ふろリモコン）

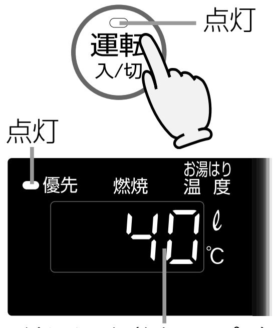
ここでは給湯リモコンでご説明します

運転前の準備

1. 浴槽の排水栓を閉める。
2. 浴槽にふたをする。
（お湯はり部分は開ける）

<運転スイッチ「切」のとき>

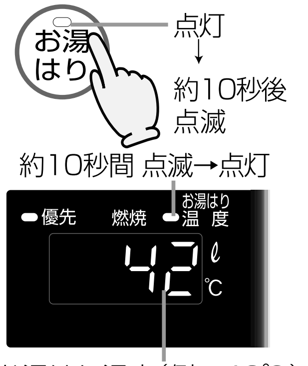
1 運転スイッチを「入」にする



給湯温度（例：40℃）

お湯はり温度・湯量の変更
20～21ページ参照

2 お湯はりスイッチを「入」にする



お湯はり温度（例：42℃）

給湯栓を開ける前にお湯はりをやめたいとき

お湯はりスイッチを「切」にする。
（ランプ消灯）

3 おふろの給湯栓を開ける

※サーモ付混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最も高温にしてください。

給湯栓を開けたあとお湯はりをやめたいとき

給湯栓を閉めてから、お湯はりスイッチを押してください。
※"お湯はりの設定を解除しました"と音声でお知らせしてお湯はりランプが消えるまで、給湯栓を開けないでください。

■サーモ付混合水栓を使用している場合

●お湯はり時は必ず水栓側の温度設定を「H」または「高」の位置までまわして使用してください。

中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。

※給湯栓の構造により「H」または「高」の位置でもお湯はり完了後、水が多少流れる場合があります。
湯温がさがったり、浴槽からお湯があふれることがありますので、メロディが鳴ったらすぐに給湯栓を閉めてください。

⚠警告 高温注意 **やけど予防のために**

給湯栓を閉めた後、水栓側の温度設定を40℃ぐらいの位置にもどしてください。

<オートストップ>とは

浴槽にお湯をはるときお湯はり湯量を設定（☞P21）しておくと、その量になったときにリモコンのメロディと音声（"おふろが沸きました"）でお知らせし、お湯が自動的に止まります。
（給湯栓は開いたままなので必ず閉めてください）

お湯はり完了後10分以内に給湯栓を閉めなかった場合は、お湯が使用できません。
メロディが鳴ってから給湯栓を閉めないまま約10分経過したら、リモコンに「oFF」を表示しますので、給湯栓を閉めてお湯はりスイッチを押してください。
"お湯はりの設定を解除しました"と音声でお知らせし、お湯はりランプが消えたらお湯が使用できます。

4 お湯はりメロディが鳴ったらおふろの給湯栓を閉める

※他でお湯を使用している場合はその給湯栓も閉めてください。

<給湯栓を閉めると>
・しばらくして（約30秒以内）音声で"お湯はりの設定を解除しました"とお知らせします。
・お湯はりランプが消灯します。

<給湯栓を閉めなかったら>
メロディが鳴ってから約10分間、給湯栓が閉まったかどうかを確認するため自動的に機器が水を流し、給湯栓から少量の水が出たり止まったりします。
給湯栓を閉めると水は止まります。

<メロディが鳴ってから給湯栓を閉めないまま約10分経過したら>
下記の表示が出ますので、すべての給湯栓を閉めてから、お湯はりスイッチを押してください。
※"お湯はりの設定を解除しました"と音声でお知らせしてお湯はりランプが消えるまで、給湯栓を開けないでください。

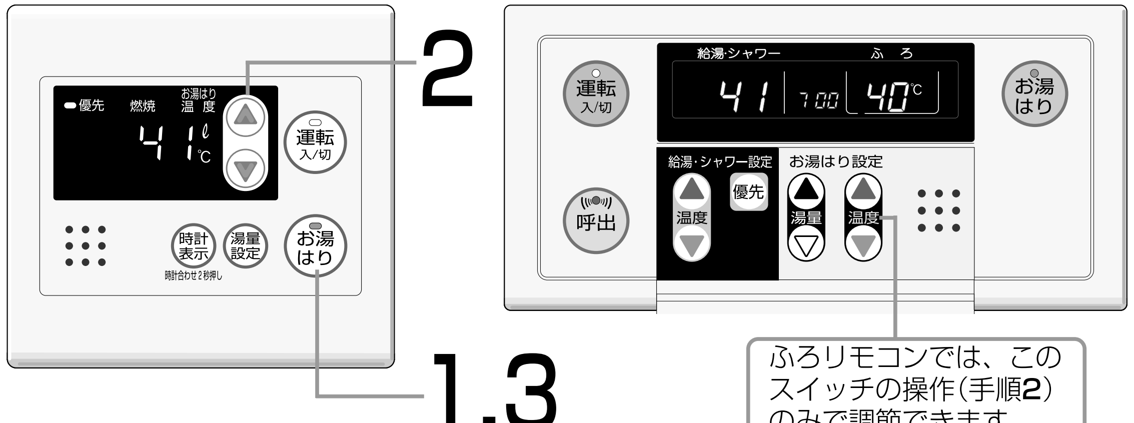
給湯リモコン

ふろリモコン

●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、設定したお湯はり温度のお湯が出ます。
●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はり量が少なくなります。
●前日などの残り湯（水）があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
●残り湯（水）がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っているお湯（水）の量だけ、設定したお湯はり湯量より多くなります。

使いかた
お湯はり温度を調節する

（給湯リモコン）　（ふろリモコン）



ふろリモコンでは、このスイッチの操作（手順2）のみで調節できます

ここでは給湯リモコンでご説明します

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

＜一度設定すると記憶します＞

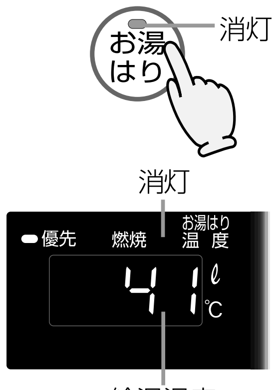
1 （給湯リモコンのみ）お湯はりスイッチを「入」にする

前回設定したお湯はり温度（例：40℃）

2 設定スイッチでお湯はり温度を調節する

変更したお湯はり温度

3 （給湯リモコンのみ）お湯はりスイッチで給湯表示画面に戻す



給湯温度

2で変更した温度でそのままお湯はりするときは、**3**でお湯はりスイッチを押さずに給湯栓を開けてください。

お湯はり温度の目安

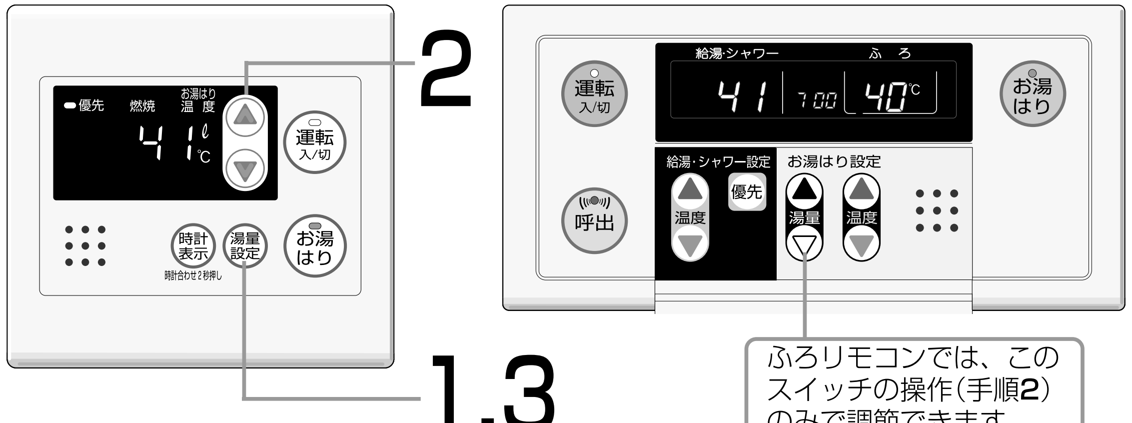
（℃：目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。）

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

※初期設定（工場出荷時）＝40℃

使いかた
お湯はり湯量を調節する

（給湯リモコン）　（ふろリモコン）



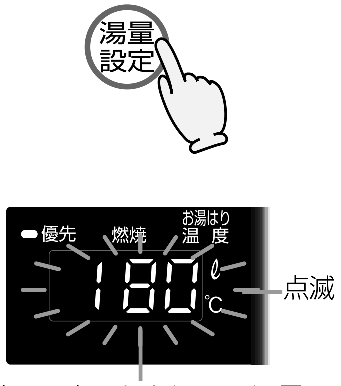
ふろリモコンでは、このスイッチの操作（手順2）のみで調節できます

ここでは給湯リモコンでご説明します

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

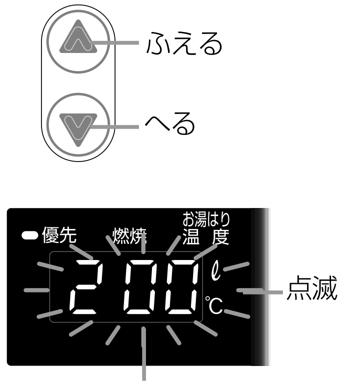
＜一度設定すると記憶します＞

1 （給湯リモコンのみ）湯量設定スイッチを押す



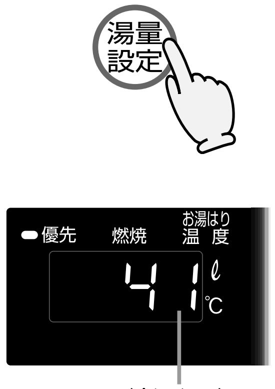
前回設定したお湯はり湯量（例：180L）

2 設定スイッチでお湯はり湯量を調節する



変更したお湯はり湯量

3 （給湯リモコンのみ）湯量設定スイッチで給湯表示画面に戻す



給湯温度

最後に湯量設定スイッチを押し忘れた場合でも、**2**の段階で変更した湯量で確定します。

お湯はり湯量

40～260（20Lきざみ）・300・350・400Lの値で調節できます。
※初期設定（工場出荷時）=180L

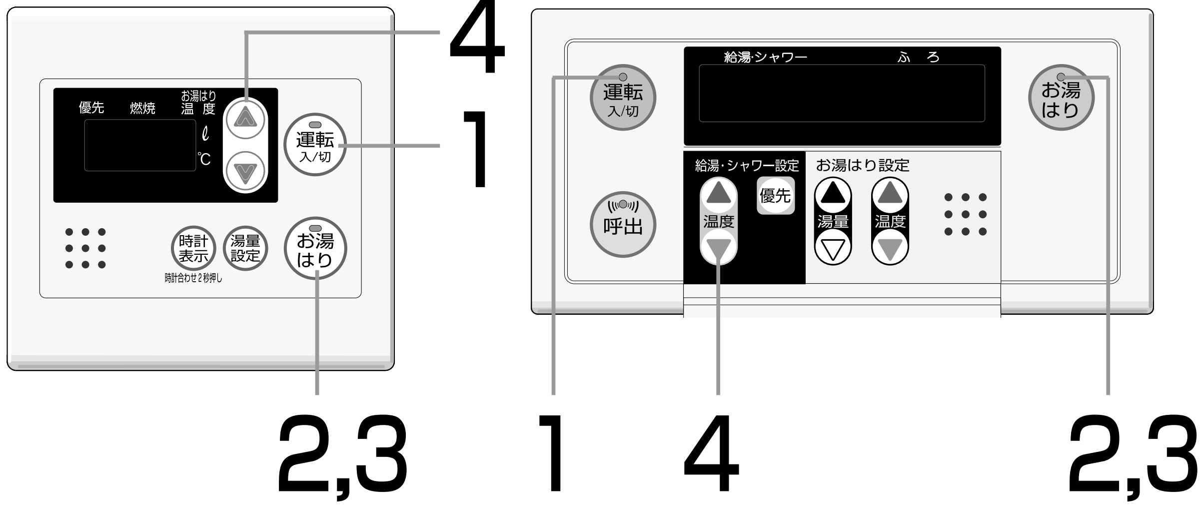
●音量を「0（なし）」に設定するとお湯はりメロディは鳴りません。（☞P23）

使いかた

各設定を変更する（リモコンの音量・音声ガイド・ 表示の節電）

リモコンをお使いの場合

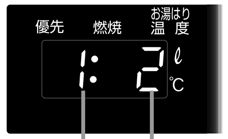
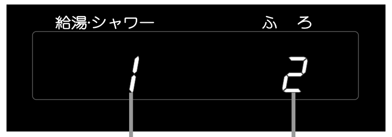
リモコンの音量を変える	操作音・音声ガイドの音量変更のほか、音を消すこともできます
リモコンの音声ガイドを消す	音声ガイド「あり/なし」の切り替えができます
リモコンの表示の節電をしない	表示の節電「する/しない」の切り替えができます



1 運転スイッチを「切」にする

運転スイッチ「切」の状態でのみ、各設定の変更ができます。

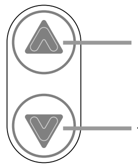
2 お湯はりスイッチをピッと鳴るまで（2秒間）押す

給湯リモコン	ふろリモコン
	

3 お湯はりスイッチで設定モードを選ぶ

押すごとに切り替わります。

4 設定スイッチで変更する（ふろリモコンの場合は給湯温度設定スイッチで）



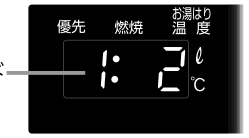
表示画面は給湯リモコンでご説明します

□＝初期設定（工場出荷時）

各リモコンの設定を変更できます

音量

「1」にする　音量設定モード



0	1	2	3
なし ・「お湯はりメロディ」（☞P19）は鳴りません。 ・「呼び出し音」（☞P15）は鳴ります。	小	中	大

音声ガイド

「2」にする　音声ガイド設定モード

on（あり）	音声ガイドでお知らせします
oF（なし）	音声ガイドでお知らせしません

操作音と音声ガイドの両方とも鳴らないようにするには、音量を「0（なし）」に設定してください。

表示の節電

「3」にする　表示の節電設定モード

on（する）	表示の節電をします（☞P11,13）
oF（しない）	表示の節電をしません（☞P11,13）

5 続けて他の設定を変更する場合は、再度3〜4の手順で変更する

そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを「入」にしてください。
使用しない場合は、そのまま30秒放置しておくと運転スイッチ「切」の状態に戻ります。

リモコンをお使いの場合

使いかた

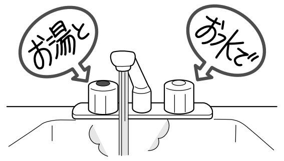
お湯を出す/お湯の温度を調節する

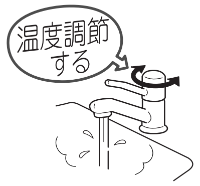
お湯の温度は、約60℃の高温(固定)になります。混合水栓でお湯と水を混合してお使いください。

1 電源プラグを電源コンセントに差し込んでいるか確認する

2 給湯栓を開ける

3 お湯の温度を調節する





4 使用後は給湯栓を閉める

通常電源プラグは差し込んだままで、抜く必要はありません。

⚠警告 やけど予防のために

シャワーなどお湯を使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。

リモコンがない場合

凍結による破損を予防する-1

お願い

＊暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。

＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

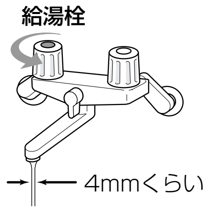
機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと凍結予防しないため、電源プラグは抜かない。
(<リモコンがある場合>運転スイッチ「入·切」に関係なく凍結予防します)

＊給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。
(わからないときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマに確認してください)

■低温注意報が発令されたときや、冷え込みが厳しいときは、以下の処置をする。<リモコンがある場合のみ>
機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を閉める。
3. おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc···太さ約4mm)を流したままにしておく。
   ※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
4. 念のため、約30分後に再度流れる量を確認する。



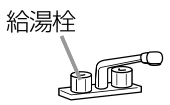
＊サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。
やけど予防のため。

<リモコンがある場合>凍結してお湯(水)が出ないとき

■運転スイッチを「切」にする。
気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

■すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください。

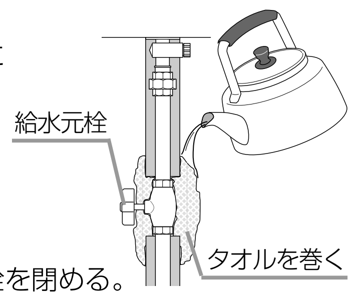
1. 運転スイッチを「切」にし、台所などの給湯栓を少し開けておく。
2. ガス栓を閉める。
3. 給水元栓を回してみる(閉めてみる)。



給水元栓が凍結して回らない場合

1)タオルを給水元栓のまわりに巻く。
2)**人肌程度(30〜40℃)のぬるま湯**を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。

注意
＊熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
＊機器の電源プラグ・コード、電源コンセントにお湯がかからないように注意してください。
＊ガス栓とまちがえないように注意してください。



3)給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
4)タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。
5)今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。
(わからないときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマに確認してください)

給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご連絡ください。

※給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

凍結による破損を予防する-2

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

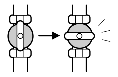
⚠注意

高温注意

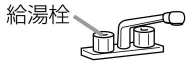
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

水抜き栓などからお湯または水が700cc以上(配管・設置条件によって量が異なります)出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1 ガス栓を閉める。

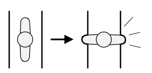


2 <リモコンがある場合>運転スイッチを「切」にする。
<リモコンがない場合>いずれかの給湯栓を全開にする。

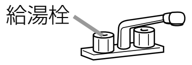


3 <リモコンがある場合>
電源プラグを抜く。 **ぬれた手でさわらない**
<リモコンがない場合>
2の操作より20秒以上経過後、電源プラグを抜く。 **ぬれた手でさわらない**

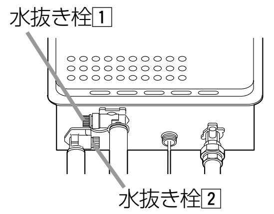
4 給水元栓を閉める。



5 すべての給湯栓を全開にする。



6 水抜き栓1 2を左に回して開け、外す。



※各水抜き栓は、配管の保温材に隠れて見えにくいことがあります。

7 6の操作より10分以上経過後、完全に排水したことを確認し、水抜き栓1と水抜き栓2、およびすべての給湯栓を閉める。

再使用のとき

1．水抜き栓1と水抜き栓2が閉まっていることを確認する。
2．すべての給湯栓が閉まっていることを確認する。
3．P9「初めてお使いになるときは」の手順1～4に従ってください。

日常の点検・お手入れのしかた-1

⚠注意

高温注意

点検・お手入れは、運転スイッチ「切」にするか、電源プラグを抜いておこなってください。
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

点　検（定期的に）

チェック **機器や排気口・給排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすい物を置いていないか？**

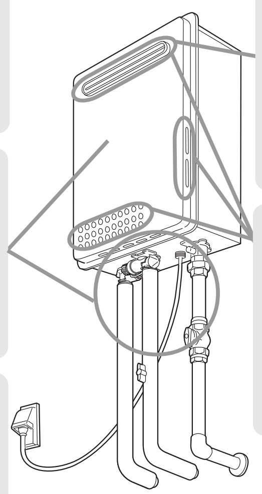
➡ 燃えやすい物を置かない。

チェック **＊機器の外観に異常な変色や傷はないか？**
＊運転中に機器から異常音が聞こえないか？
＊機器・配管から水漏れはないか？

➡ 現象があった場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

チェック **給排気筒が外れたり、穴があいたり、ゴミなどつまっていませんか？**

➡ 給排気筒が外れたり、穴があいたり、つまった状態で使用しない。



(例：PH-162SSWQL)

チェック **排気口にススがついていないか？**

➡ ついていたら、お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

チェック **排気口・給気口・給排気筒トップがほこりなどでふさがっていないか？**

➡ ふさがっている場合は、掃除する。

お手入れ（定期的に）

機 器 本 体

●機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。
●海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、機器に潮風が当たり、機器本体および配管接続部にさびが発生する場合があります。
さびがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

リ モ コ ン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

●リモコンの掃除にはベンジンや塩素系の洗剤を使用しないでください。
変形する場合があります。
●ふろリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
（給湯リモコンは防水タイプではありません）

日常の点検・お手入れのしかた-2

お手入れ（定期的に）

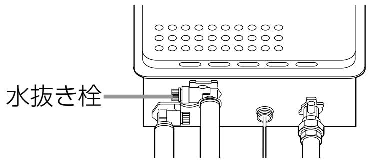
水抜き栓(フィルター付)

水抜き栓のフィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

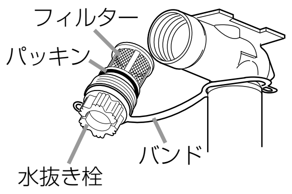
※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、リモコンの運転スイッチを｢切｣または、電源プラグを抜いて機器が冷えてからおこなってください。(やけど予防のため)

※水抜き栓などからお湯または水が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1．給水元栓を閉める。
2．すべての給湯栓を開ける。
3．水抜き栓を外す。(注1)
4．配管とつながっているバンドから外す。
5．フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。(注2)
6．元どおりに水抜き栓を取り付ける。
7．すべての給湯栓を閉める。
8．給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。



(例：PH-162SSWQL)



(注1)このとき水(湯)が出ます。
(注2)水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

＜定期点検のおすすめ＞

より長く安全にお使いいただくために、2年に1回程度(使用頻度の高い場合は1年に2回程度)の定期点検を受けられることをおすすめします。お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談のうえ、お申しつけください。
本製品の逆流防止装置に関しては、4～6年に1回程度の定期点検を受けられることをおすすめします。お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談のうえ、お申しつけください。(有料)

故障・異常かな？と思ったら-1

「温度」に関すること

給湯栓を開いても お湯(水)が出てこない	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊断水していませんか？ ＊給湯栓は充分開いていますか？ ＊ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？ ＊ＬＰガスの場合、ガスがなくなっていませんか？(こんろなど他のガス器具が使用できますか？) ＊水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていませんか？ (☞P28) ＊凍結していませんか？ ＊(リモコンがある場合)運転スイッチは｢切｣になっていませんか？ ＊電源プラグが抜けていませんか？
給湯栓を開いても すぐお湯にならない	＊機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊(リモコンがある場合)給湯温度設定は適切ですか？(☞P16,17) ＊水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。 ＊少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。
高温のお湯が出ない	＊ガス栓が全開になっていますか？ ＊(リモコンがある場合)給湯温度設定は適切ですか？(☞P16,17) ＊冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度(高温)のお湯が出ない場合があります。 給湯栓を少し閉じてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。
お湯の使用中に水になった (途中で火が消えた)	＊水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯にならないことがあります(自動的に燃焼を停止し高温のお湯にならないようにします)。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
設定したお湯はり温度にならない	＊前日など残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
給湯温度の調節ができない	＊操作しているリモコンに優先切替していますか？(☞P17)

故障・異常かな？と思ったら-2

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が変化する	＊お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があり、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 ＊給湯栓の種類によっては、はじめ多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。 ＊お湯の温度を安定させるため、お湯の出はじめは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。
お湯はり量が設定した湯量にならない	＊お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。 ＊残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
設定量までお湯はりしてもお湯はりメロディ・ブザーが鳴らない	＊お湯はりメロディ・ブザーは、機器で燃焼したお湯が設定量連続して出ると鳴るしくみです。サーモ付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるので、設定したお湯はり量より水の分だけ多いところでブザーが鳴ります。

「リモコン」に関すること

運転ランプが点灯しない	＊停電していませんか？ ＊電源プラグが差し込まれていますか？
時計表示が「0：00」になっている	＊停電後、再通電すると時計表示が「0：00」になりますので、時計合わせをしなおしてください。(☞P14)
停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	＊停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	＊機器を使用しないまま約10分(ふろリモコンはお湯はり機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(表示の節電)(☞P11,13) 再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない (例)運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに切れていない　など･･･	<呼出スイッチまたは、お湯はりスイッチ以外のスイッチの場合> ＊表示の節電中にスイッチを1回押すと、表示の節電を解除し、もう1度押すとそのスイッチの機能がはたらきます。 運転スイッチ「入・切」は、ランプ「点灯・消灯」で確認してください。
表示の節電の状態にならない	＊表示の節電「する」の設定になっていますか？(☞P23) ＊給湯温度を60℃，75℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。 ＊時計表示をしているときは、表示の節電はしません。

故障・異常かな？と思ったら-3

「音」に関すること

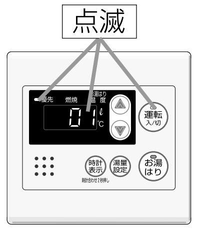
運転を停止しても しばらくの間ファンの 回転音(ブ〜ン)がする 運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとモータが動く音(クックッ、クー)がする	＊再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。

その他

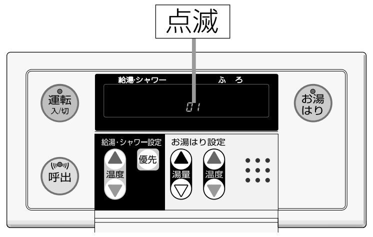
使用中に消火した	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊断水していませんか？ ＊給湯栓は充分開いていますか？ ＊ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？ ＊ＬＰガスの場合、ガスがなくなっていませんか？(こんろなど他のガス器具が使用できますか？)
寒い日に排気口から湯気が出る	＊冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。
お湯が白く濁って見える	＊水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。
機器の給湯側の水抜き栓(過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの間出ることがある	＊機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、水抜き栓から水滴がおちることがあります。
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	＊浴槽や洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により青く着色することがありますが、健康上問題ありません。浴槽や洗面台をこまめに掃除することにより、着色しにくくなります。

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、表示画面に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。



＜給湯リモコン＞



＜ふろリモコン＞

表 示	原 因	処 置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
11	点火エラーが生じたため	運転スイッチ「切」にし、ガス栓が開いているか、ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していないか、またはＬＰガスがなくなっていないか(こんろなど他のガス器具が使用できるか)を確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
oFF	おふろのお湯はり(オートストップ)が終了してから10分以上経過していたり、お湯はり中に運転スイッチを「切」にしたため	すべての給湯栓を閉めてから、お湯はりスイッチを押してください。

以下の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご連絡ください

・上記以外の表示（例：61 など）が出るとき
・上記の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき
・その他、わからないとき

アフターサービスについて

点検・修理を依頼されるとき

P29～33の「故障・異常かな？と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

なお、修理のご依頼は、【電話】0120-193-860 でも24時間受付いたしますので、ご利用ください。アフターサービスをお申しつけのときは右記のことをお知らせください。

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 現象（できるだけ詳しく）
- 品名・型式名（銘板表示のもの）
- ご購入日・ガス種
- 道順

受付時間	
	平日　9：00～18：30 土曜日・日曜日・祝日　9：00～17：00（修理受付のみ）

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスコールセンター	〒001-0033 札幌市北区北３３条西７丁目１－１	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスコールセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館２０－１０	022-239-1848	022-238-0838
関　東サービスコールセンター	〒153-0042 東京都目黒区青葉台1-28-9越藤ビル2F	03-3719-4633	03-3715-2722
中日本サービスコールセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町６－２３	052-824-5188	052-824-5385
近　畿サービスコールセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2F	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスコールセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋３丁目８－１２	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスコールセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南２-９-１３	092-472-0924	092-471-8400

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器（銘板）に表示してあるガスの種類・電源（電圧）が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業者・お買い上げの販売店かお近くのパロマにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。
※ガスの種類によっては改造・調整ができない場合があります。

その他

BL認定品には、機器の前面にBLマークを表示しています。
BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
（財）ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

（つづく）

（つづき）

その他ご不明の点は

お買い上げの販売店かお近くのパロマまたは「お客様相談室」までご連絡ください。

パロマお客様相談室　〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号　TEL 052-824-5145

主な仕様

・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
・出湯能力は湯水混合の計算値です。
　但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。
・型式によっては、該当しないガス種もあります。

仕様表

	16号		
型式名	PH-162SSWQL	PH-162SSWQL3	PH-162SSWQL4
種類 給湯方式	先止め式		
種類 設置方式	屋外設置形		
点火方式	放電点火式		
水圧 使用水圧〈MPa〉	0.1～1.0（1.0～10.0kgf/cm^2）＜推奨水圧 約0.15～0.5（約1.5～5.0kgf/cm^2）＞		
水圧 作動水圧〈kPa〉	10（0.1kgf/cm^2）		
最低作動流量〈L/分〉	3.5		
外形寸法〈mm〉	高さ619× 幅250× 奥行205		
質量（本体）〈kg〉	15		
接続口径 給湯	R1/2		
接続口径 給水	R1/2		
接続口径 ガス	R1/2		
電気関係 電源	AC100V（50/60Hz）		
電気関係 消費電力（50/60Hz）〈W〉	36/36	40/40	
	凍結予防ヒーター 125		
電気関係 待機時消費電力	運転スイッチ「入」約4.0W（省電力モード）、「切」約4.0W　＜給湯リモコン取付＞		
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式		
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置		

能力表

16号	型式名	PH-162SSWQL，PH-162SSWQL3，PH-162SSWQL4

使用ガス		1時間当りのガス消費量（最大消費量）〈kW〉	出湯能力（最大時）〈L/分〉	
			水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用	13A	33.4	16	10
都市ガス用	12A	31.1	15	9.5
ＬＰガス用		33.4	16	10

保 証 書

品　名	ガス瞬間給湯器： PH-162SSWQL, PH-162SSWQL3, PH-162SSWQL4

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書､本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合にはお買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は､お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ本書をご提示ください｡なお､離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください｡
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合にはお近くのパロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
(ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
(ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輌、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
(ト) 本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので､紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前	様
	ご住所　〒	
	お電話	
販売店	店名	
	住所	
	電話番号	

お買い上げ日		年　月　日
保証期間		お買い上げ日から1年間
BL認定品の保証期間	本体	お買い上げ日から2年間
	熱交換器	お買い上げ日から3年間

見本

株式会社パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052（824）5145

修理記録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員 ㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。